

## 北海道医療大学アメリカンフットボール部 創部30周年記念式典

北海道医療大学アメリカンフットボール部  
30周年記念式典

実行委員長 小林 ちさと

昨年、北海道医療大学アメリカンフットボール部は創部30周年を迎え、京王プラザホテルにて記念式典を開催致しました。式典には初代部長の坂口邦彦先生を始め部長・国永史朗先生、小島雅彦前監督、OBでもある永易裕樹先生、齊藤正人先生、VTRによる越智守生先生の特別参加を得、総勢93名(うち現役部員19名)が集いました。式典はOB会長・関根清文の挨拶に始まり、歴史を振り返るスライド

ショー放映、現役部員やOBである鈴木大輔新監督による決意表明などが行われ、盛会のなか終了致しました。

本会では東日本大震災で被災した本学学生のための義援金を募り、82,644円を学校法人東日本学園へ寄付することが出来ました。

創部30年という区切りを無事迎えられる事が出来ましたのも、偏に関係各位の皆様方の



お陰です。あらためてお礼申し上げます。今後は新たにOB会事務局を立ち上げるなど、部を中心とした強い『絆』を紡ぎ、現役部員のサポート強化を行い、一つでも多く勝利をおさめ、皆様にご報告差し上げられますよう、関係者一同一丸となって精進してまいります。今後もご協力ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

### 1/6 被災地医療救護活動にあたった 本学歯学部教員等に対する感謝状の贈呈

日本歯科医師会等からの派遣要請を受けて、本学歯学部教員等が東日本大震災における被災地支援活動にあたってきたことから、昨年、日本歯科医師会から感謝状が贈られましたが、それに引き続いて、この度、宮城県歯科医師会からも、被災地の避難所生活者に対する巡回診療及び口腔ケアに従事した歯科医師17名に対して感謝状が贈られました。

これを受けて、1月6日(金)、有末歯学部長より、慰労の言葉とともに各歯学部教員等に対して感謝状が手渡されました。



### 2/6-7 本学学生による 当別町の除雪ボランティア

2月6日・7日の2日間にわたって、本学の学生有志十数名が大学所在地である当別町の除雪ボランティアを行いました。

報道にもあるように、隣町の新篠津では記録的な大雪となっており、隣接地である当別町においても例年以上の膨大な積雪量となっています。

本学の学生有志十数名は2日間にわたり町内の高齢者の住宅等を中心に除雪作業を行い、住民の方々より多くの感謝と労いの言葉をいただきました。



## EDITOR'S NOTE

今年も巣立ちの季節がやってまいりました。国家試験や資格試験にむかって全力をそそいできた学生たちには、小さな声で「お疲れ様」をかけてあげたいと思います。最終学年は、早く卒業したい、早く試験から解放されたいと思って過ごした人も多かったのではないのでしょうか。これで試験から解放されたと言っても、特に医療に携わるものは、最新の知識と技術を習得するために、一生勉強を続けていく必要があります。しかし、試験に追われることなく自らの意思で勉強してみると、改めて気がつくことがあります。「あれ、いつからこんなに勉強って楽しいと思えるようになったのだろう。」ということです。本当の意味での学ぶことの楽しさは、むしろこれからの方が実感する機会が多いように思います。卒業生の皆さん、これから社会にでて益々、勉強を楽しんでください。

(Y.A記)

## ADVANCE

北海道医療大学広報誌 No.150

STAFF ● 増田 園子 浜上 尚也 安彦 善裕 中山 英二  
鎌口 有秀 志渡 晃一 竹生 礼子 富家 直明  
梶原 健一 杉原 佳奈 長原 利明 宮崎 隆志  
宮川 雄一 戸藤 成人

発行日 ● 2012年3月14日

編集・発行 ● 北海道医療大学広報・教育事業部 入試広報課  
〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757  
☎(0133)22-2113  
http://www.hoku-iryu-u.ac.jp

広報誌についてのご意見・ご要望・情報等をお待ちしております。  
E-mail:nyushi@hoku-iryu-u.ac.jp



■北海道医療大学の教育理念  
生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって地域社会ならびに国際社会に貢献することを本学の教育理念とする。